



校長通信

令和3年度16号

令和3年11月24日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《土曜参観を実施しました！》

11月20日（土）、本来であれば休日のところ、授業日とし1～4限の授業を公開し、多くの保護者、ご家族の方々に参観していただきました。生徒はいつも通り、落ち着いて授業に臨んでいましたが、若干、緊張していた様子でした。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年、1学期に実施していた授業参観は、昨年度、今年度と中止としていたので、1，2年生にとっては、中学校に入学して、初めての授業参観になりました。

また、この日、午後から、3年生の保護者の方々を対象に、体育館において、第2回進路説明会を実施しました。前回、第1回進路説明会は、修学旅行説明会と兼ねて、オンラインで実施しましたので、私にとっては、初めて対面で3年生保護者の方々に、ご挨拶させていただく機会となりました。3年生は、これから本格的に進路を選択していく時期になります。学校と家庭と連携しながら、3年生の進路指導を進めていきたいと思っています。

授業参観、進路説明会に出席いただいた保護者の方々、ありがとうございました。残念ながら進路説明会に出席できなかった方々には、後日、動画をインターネットにアップしますので、ご覧いただけたらと思います。

《和歌山県誕生150年！》

明治4年（1871年）7月の廃藩置県により設置された和歌山・田辺・新宮の3県が、この年の11月22日統合され、和歌山県が誕生しました。県民文化会館で、「和歌山県誕生150年記念パネル展」が開催されていたので、参観して来ました。150年の歴史を振り返る映像や画像、パネルが展示されていて、知らなかった和歌山の歴史に気づいたり、懐かしく感じたりしました。

パネルを見て一番懐かしく感じたのは、昭和46年に開催された、第26回国民体育大会（黒潮国体）です。県民総参加で、大会を盛り上げていたように思います。当時、私は小学校1年生でしたが、山形県少年女子体操チームの監督とコーチが私の自宅に民泊した事を思い出しました。

11月22日、150周年を記念し、県立の4つの美術館・博物館が無料で開放されていたので、パネル展を参観した後、海南市にある県立自然博物館に行ってきました。水量450トンの大水槽で優雅に泳ぐマダラエイの姿がたいへん印象的でした。土曜参観の代休日、有意義な時間を過ごすことができました。

